

第4回 篠岡地区の学校を考える会委員 議事要旨

日 時	令和7年10月11日（土） 14時 ～ 15時40分
場 所	小牧市東部市民センター 講堂
出席者	【委員】 別紙のとおり 【事務局】 中川 宣芳 教育長 矢本 博士 教育部長 岩本 淳 教育部次長 丸藤 卓也 教育総務課長 瀬尾 宗利 学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹 長屋 孔之 教育総務課学校再編推進係長 丹羽 勇人 教育総務課学校再編推進係主査 稲垣 翔太 教育総務課学校再編推進係主任
欠席者	伊藤委員、楠委員、郷治委員、小島康委員、杉山委員、長橋委員、成瀬委員 長谷川委員、深堀委員
傍聴者	39名
配布資料	資料1 保護者意見交換会での意見や質問 資料2 篠岡地区学校再編計画（案）

内 容

1 開会 2 議題 （1）第3回会議の振り返り、 保護者等との意見交換会、住民説明会等の結果報告 （2）篠岡地区学校再編計画（案）について 事務局より資料1、2に基づき、説明を行い、以下のような質疑応答等を実施 【委員】 ・校章・校歌の作成について、子どもや保護者から募集との説明であったが、卒業生などからも募集する考えはあるか。 【事務局】 ・校章や校歌のフレーズについては、地域住民から広く募集できるような手法について、今後、検討していきたいと考えている。 【委員】
--

- ・再編後の子どもたちへの心のケアについて、現段階で決まっていることがあれば、教えていただきたい。

【事務局】

- ・学校再編以前としては学校現場とも連携しながら、引き続き、学校再編の中身をきちんと説明をするとともに、学校間交流により、子ども同士が顔見知りになることで、少しでも不安を解消できればと考えている。
- ・また再編後においても、引き続き、児童生徒同士の交流を深めていくとともに、変化が苦手な児童生徒にはスクールソーシャルワーカーや心の相談員などと連携し、対応を引き継いでいくとともに、気軽に相談ができるような体制を構築していく。

【委員】

- ・学校間交流は再編先の学校で、だけでなく、すべての学校を舞台に実施することで、お互いの学校の雰囲気／風土を知る機会にもなると思うので、是非検討されたい。

【事務局】

- ・ご意見として参考にさせていただく。

【委員】

- ・令和８年度からの学校間交流に関して具体的なスケジュール等が決まっていればお示しいただきたい。

【事務局】

- ・現在、教育委員会と篠岡地区の各学校長などにより「学校再編準備調査研究委員会」を立ち上げ、学校間交流を始め、学校再編に伴う実務レベルでの調整を図っているところである。学校間交流も含め、詳細が決まり次第、速やかに共有させていただく。

【委員】

- ・学校間交流について、市と学校で協議されているとのことだが、例えば、「親父の会」など、学校に関係するボランティア団体等でそうした事業を企画することは問題ないか。

【事務局】

- ・再編前からの学校間交流については、通常のエデュケーション活動と並行して実施されることから、その頻度や内容について、学校に過度な負担がかからないような配慮が必要と考えている。そうした中、ご提案のような学校関係者など、有志による交流活動は大変ありがたいと考えている。
- ・企画の際にはぜひ市教育委員会、学校にご相談いただきたい。

【委員】

- ・中学１年生は体格、体力等、小学生とそこまで変わらないと思う。年齢や距離などを限定したスクールバスの導入は検討できないか。

【事務局】

- ・中学生の遠距離通学については、学校が定める自転車通学のエリア内であれば、自転車による通学が可能であること、また現在のバスエリア案については、安定的な運行が可能な範囲で最大限拡大したものであることから、これ以上の対象拡大は難しいと考えて

いる。

【委員】

- ・学校名について、「しのおか学園」に併せてひらがな表記ということも考えられたと思うが、「篠岡」と漢字にされた理由があれば教えていただきたい。

【事務局】

- ・資料での説明のとおり、小牧市ではこれまで6地区名や大字名を学校名にしてきたことから、漢字を使用することを考えた。

【委員】

- ・「しのおか学園構想」を打ち出された際、あえてひらがなを選択されたのは、「篠岡地区」という1つのまとまりを意識しながらも、新しいスタートであることを想わせるという意味で大変良い考えだと感じた。
- ・今後、学校名の前に冠するという「しのおか学園」の位置づけ、使い方にもよるが、学校名についてもひらがなを使うことも検討されたい。

【事務局】

- ・ご意見として参考させていただく。

【委員】

- ・校歌について、4月以降に作成されとのことだが、入学式での校歌斉唱についてはどのように考えているか。

【事務局】

- ・校歌を歌う主な狙いとして、合唱による連帯感や学校への愛着を育むといったことが挙げられるが、再編後、児童生徒と共に校歌を作り上げていく過程を通して、連帯感や学校への愛着を育んでいきたいと考えている。
- ・入学式等で何の歌を歌うかについては、今後、学校側と協議していく。

【委員】

- ・スクールバスのスケジュールの中で試験運行期間とあるが、これは令和9年度からの新1年生も対象となるのか。
- ・また、バス業者の決定をもっと早めて、業者決定後にバス停等の位置を保護者と決めていったほうがいいのではないか。

【事務局】

- ・令和9年度からの新1年生とその保護者についても体験いただけるよう企画する。
- ・スケジュールについてはご意見として参考とさせていただく。

【委員】

- ・PTAの選出等について、輪番制などにより、既に令和9年度以降の役員等が概ね決まっていることも想定される。細かい調整について、教育委員会から支援いただけるのか。

【事務局】

- ・PTA役員の選出など、会の運営支援は学校の所掌事務ではあるが、再編後の運用等、新たに検討、調整が必要な事項については、教育委員会としてもしっかり関わっていく。

【委員】

- ・ビジョンやスケジュールの説明を受け、令和9年度への見通しが少しついたと感じた。
- ・保護者へのアンケート調査の回収率が3～4割程度ということに驚くとともに、学校再編に関する周知が不足しているのではと感じた。市のホームページを見たが、学校再編になかなかとり着けなかったこともあり、情報発信の手法についてはよく検討されたい。
- ・また、前回も申し上げたが、学校の先生方は日々の業務をこなしながら、学校再編という大変な事務に臨んでいくことになるため、市教育委員会からの十分な支援が必要である。

【事務局】

- ・情報発信については、市も課題と感じており、保護者等意見交換会の資料をすべての保護者に郵送するなど紙媒体での周知に加え、保護者用アプリを活用した「学校再編だより」の定期発行などを実施しており、今後も多様な媒体による情報発信について検討を進めていく。
- ・また学校側への負担についても、学校再編により先生方に過度な負担がかからないよう、市教育委員会として十分に配慮していく。

【副会長】

- ・他に無いようであれば、これで質疑応答は終了とさせていただきます。
- ・最後に会長から本日の会議の総括をお願いします。

【会長】

- ・前回会議以降、アンケートや意見交換会、説明会等を精力的に実施いただき、いずれの会でも参加者から多くの意見、要望が出されたと承知しているが、すべて学校を大切に想う心、子どもたちの健やかな成長を願う心から出されたものであり、市教育委員会でも重く受け止められたうえで、今日の説明をされたものと思う。
- ・もちろん様々な立場から多様な意見があり、そのすべてをかなえるには至っていないかもしれないが、現在の、そして将来の子どもたちに「元気に、楽しく学んでほしい」、「たくましく育ってほしい」という皆さんの思いが1つになれば、素晴らしい学校、教育環境ができあがると思っている。
- ・委員の皆さまにはどうか最後までお力添えをお願いしたい。

【副会長】

- ・以上をもって、本日の議題は全部終了したので、進行を事務局にお返しする。